



2026年5月28日

各 位

会 社 名 株式会社 GENDA  
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 片岡 尚  
(コード番号：9166 東証グロース市場)  
問 合 せ 先 常務取締役 CFO 渡邊 太樹  
(TEL 03-6281-4781)

### よくある質問と回答 (2026年5月)

日頃より、当社へご関心をお持ちいただきありがとうございます。今月、投資家様より頂戴した主な質問とその回答について、下記の通り開示いたします。

なお、本開示は投資家様への情報発信の強化とフェア・ディスクロージャーを目的に、毎月月末を目途に開示するものです。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容を最新の当社方針として回答を記載しております。

なお、過去の「よくある質問と回答」は当社ホームページをご覧ください。

<https://genda.jp/ir/faq/>

Q1. 昨年の戦略変更を実行するための投資規律やガバナンス体制はどうなっていますか？

当社は市場環境に左右されず持続的な M&A を実行するための体制に移行するため、2025 年 9 月にオーガニック（既存事業）戦略の変更として FCF の創出、同年 12 月にインオーガニック（M&A）戦略の変更として M&A 案件の厳選を発表しました。

当社は株主価値向上の観点から、M&A 等の資金調達手段として、当社バリュエーション指標の上昇局面ではエクイティファイナンスを併用してまいりましたが、上記の戦略変更により、足元のバリュエーション指標の低下局面においては、エクイティファイナンスに依存することなく FCF 及びデットファイナンスを活用した M&A による非連続な成長を継続することが可能な体制としつつ、自己株式の取得も実行可能な財務体制を整えました。

これに加え、資金投下の対象および優先順位に係るキャピタルアロケーションの意思決定について、以下のガバナンス強化を行いました。具体的には、M&A の社内意思決定機関である投資委員会と、最終意思決定機関である取締役会の双方において、人員構成を変更しました。

① 投資委員会：

戦略投資部門および財務部門を中心とした人員構成に変更しました。これにより、投資対象の選別において、投資効率をより重視した意思決定を行う体制となりました。

② 取締役会：

2026 年 4 月の定時株主総会における承認を経て監査等委員会設置会社へ移行し、社外取締役が過半数（社内 5 名：社外 7 名）を占める人員構成へ変更しました。M&A 案件の実行には原則として、社外取締役が過半数を占める取締役会における過半数の賛成が必要となり、M&A 案件が少数株主の利益に資するかが実質的に審議されるガバナンス体制となりました。

形式・実態の両面でのガバナンス強化により、公表済みの戦略変更を遂行する体制を整備しております。当社のガバナンス体制の詳細については、以下をご参照ください。

- コーポレート・ガバナンスに関する報告書（2026 年 4 月 30 日）：  
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9166/tdnet/2798034/00.pdf>
- 監査等委員会設置会社への移行及び役員人事に関するお知らせ（2026 年 4 月 8 日）：  
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9166/tdnet/2787926/00.pdf>
- 2026 年 4 月 30 日開催 第 8 回定時株主総会議事録（2026 年 5 月 18 日、和文のみ）：  
<https://finance.logmi.jp/articles/384632>

以 上